

2026年3月期 第2四半期決算説明

2025年11月7日



目次

連結業績サマリー

第2四半期決算ハイライト

通期業績予想

中期経営計画の進捗情報

＜参考＞ DATA FILE

2026年3月期
第2四半期決算

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

(単位：百万円)

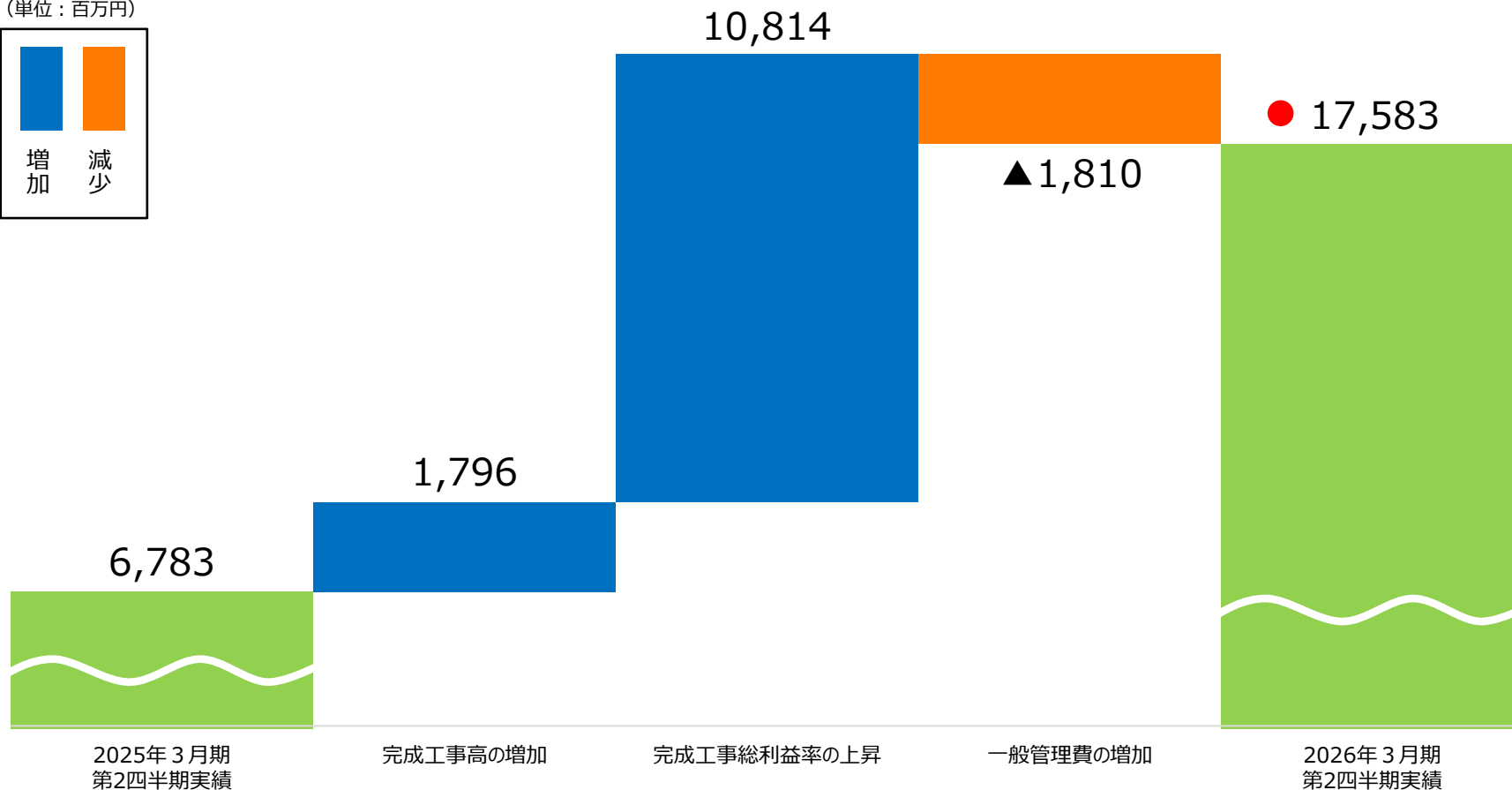
	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率
期首繰越工事高	239,861	● 258,400	18,539	↑ 7.7%
受注工事高	137,866	● 182,870	45,003	↑ 32.6%
完成工事高	105,591	● 118,359	12,768	↑ 12.1%
完成工事総利益	14,859	● 27,470	12,610	↑ 84.9%
完成工事総利益率(%)	14.1%	23.2%	9.1p	—
営業利益	6,783	● 17,583	10,800	↑ 159.2%
営業利益率(%)	6.4%	14.9%	8.4p	—
経常利益	6,999	● 18,137	11,138	↑ 159.1%
経常利益率(%)	6.6%	15.3%	8.7p	—
親会社株主に帰属する中間純利益	5,454	● 12,520	7,065	↑ 129.5%
中間純利益率(%)	5.2%	10.6%	5.4p	—

事業環境及び当社の概要

- 受注工事高は、海外の大型工事等の受注により、過去最大値となりました。
- 完成工事高及び完成工事総利益は、前期より繰り越した大型工事が竣工し、あわせてお客様との交渉等により採算が改善したことによって、大きく増収増益となりました。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、上記、完成工事総利益の増加が一般管理費の増加等を大幅に上回ったため、増加しました。以上の結果、増収増益となりました。

連結営業利益増減の内訳

(単位：百万円)



- 完成工事高及び完成工事総利益は、前頁に記載の理由により増加しました。
- 一般管理費は「ベースアップに伴う従業員給料の増加」、「現場業務効率化・事務作業効率化等をはじめとするDX投資」等の費用により、増加しました。

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

		2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率
受注工事高	空調衛生工事	119,428	128,757	9,328	7.8%
	電気工事	18,438	54,113	35,674	193.5%
	合 計	137,866	182,870	45,003	32.6%
完成工事高	空調衛生工事	91,974	96,332	4,358	4.7%
	電気工事	13,617	22,027	8,409	61.8%
	合 計	105,591	118,359	12,768	12.1%
繰越工事高	空調衛生工事	239,634	255,861	16,226	6.8%
	電気工事	32,502	67,049	34,547	106.3%
	合 計	272,136	322,910	50,774	18.7%

● 空調衛生工事

- ✓ 受注工事高は、公共施設工事、再開発案件、工場等の大型工事の受注により、増加しました。
- ✓ 完成工事高は、大型の産業施設工事が順調に進捗したことにより増加し、繰越工事高は、受注工事高が完成工事高を上回ったことにより、増加しました。

● 電気工事

- ✓ 受注工事高は、海外の大型医療関連施設等の受注により、増加しました。
- ✓ 完成工事高は、手持ち工事が順調に進捗したことにより増加し、繰越工事高は、受注工事高が完成工事高を上回ったことにより、増加しました。

連結経営指標等（財政状態）の概要

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	109,206	● 118,386	9,179	↑ 8.4%	利益剰余金の増加
総資産	215,309	● 199,260	▲16,048	↓ ▲7.5%	借入金の返済及び仕入債務の減少
1株当たり純資産（BPS）	2,495.45円	● 2,693.37円	197.93	↑ 7.9%	株価の上昇に伴いPBRが改善 （参考）2025年 3月 株価終値：3,710円 2025年 9月 株価終値：6,190円
株価純資産倍率（PBR）	1.49倍	● 2.30倍	－	－	
自己資本比率	49.7%	58.3%	8.6p	－	上記、負債の減少に伴う

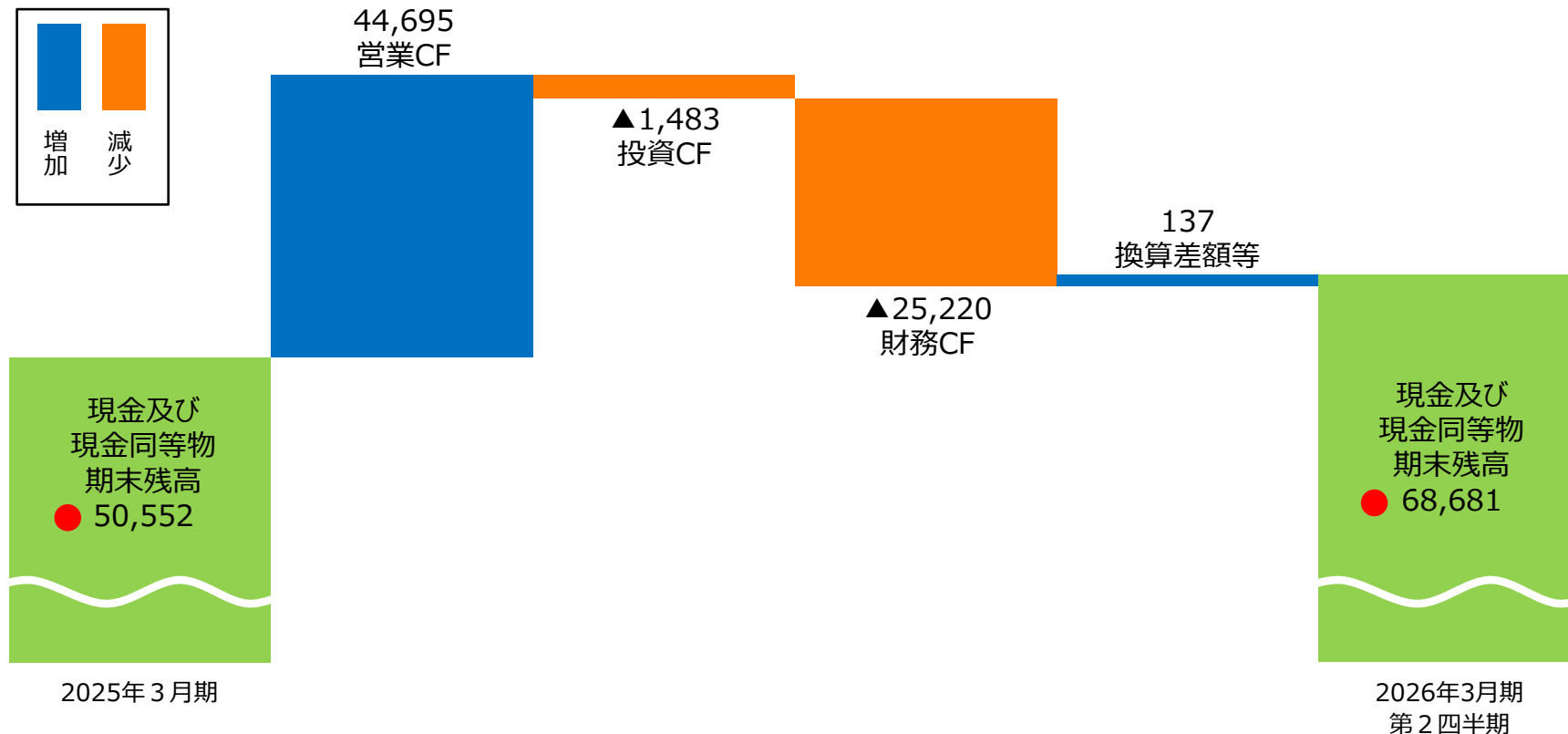
連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要

（単位：百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるC F	▲6,004	44,695	50,700	－	売上債権の回収が順調に進んだため
投資活動によるC F	920	▲1,483	▲2,404	－	再生医療事業に対する出資
財務活動によるC F	18,077	▲25,220	▲43,297	－	運転資金確保のための借入金を返済したため
現金及び現金同等物の期首残高	22,665	50,552	27,886	123.0%	
現金及び現金同等物の増減額	13,148	17,987	4,838	－	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	35,814	68,681	32,866	91.8%	

キャッシュ・フローの内訳（現金及び現金同等物期末残高の推移）

（単位：百万円）



- 当社は取引先様との共存共栄を目指す「パートナーシップ構築宣言」を公表しており、さらなる関係強化の取り組みの一環として、全てのお取引先様に対する支払条件を全額現金で支払うこととしました（2026/1/20支払いより）。今後も、サプライチェーン全体で社会的責任を果たすべく、様々な取り組みを推進してまいります。
- キャッシュ・フローの内訳は、営業CF（売上債権の回収が順調に進んだため）、投資CF（再生医療事業に対する出資）、財務CF（営業CFの増加を受け、運転資金確保のための借入金を返済したため）それぞれの要因により、増減しております。

2026年3月期
第2四半期決算

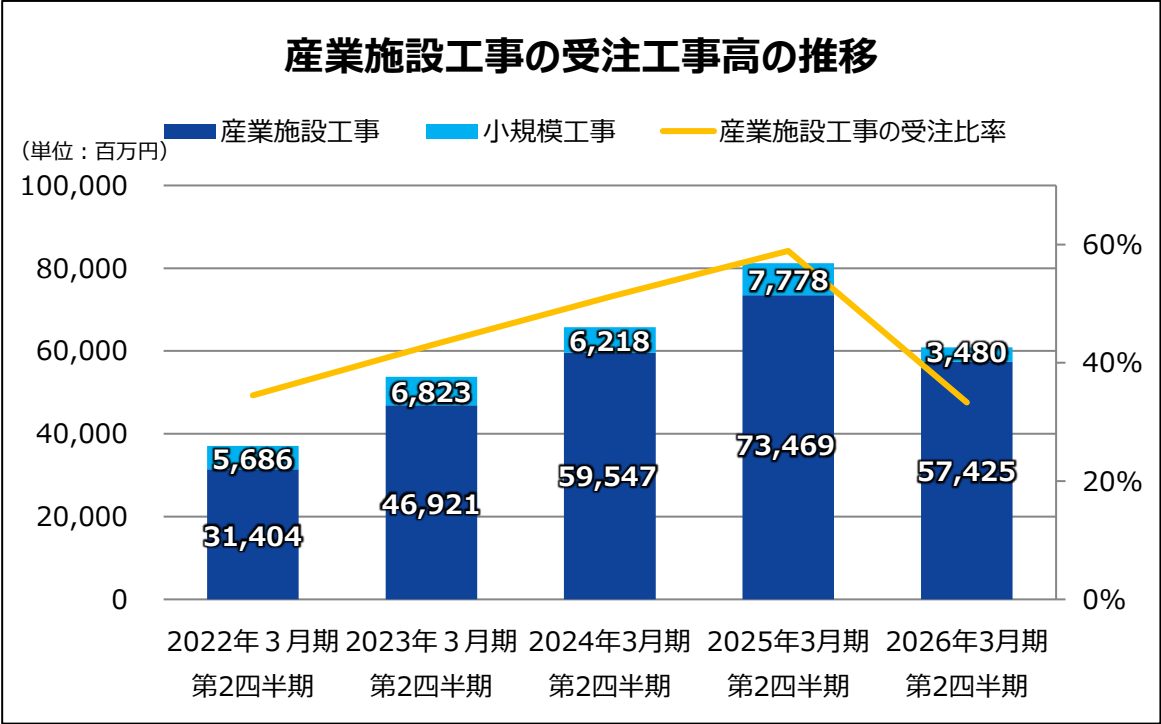
第2四半期決算 ハイライト

産業施設工事の状況

(単位：百万円)

	2025年3月期			2026年3月期	前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	増減	増減率
産業施設工事合計	81,246	81,555	162,802	● 60,905	▲ 20,341	↓▲25.0%
(受注比率%)	58.9%	56.9%	57.9%	33.3%	▲ 25.6p	—
受注工事高合計	137,866	143,404	281,271	182,870	45,003	32.6%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しています。



- 産業施設工事の受注工事高および受注比率は前期比減となりましたが、通期では前期並みの受注を確保できる見込みです。

海外事業の状況

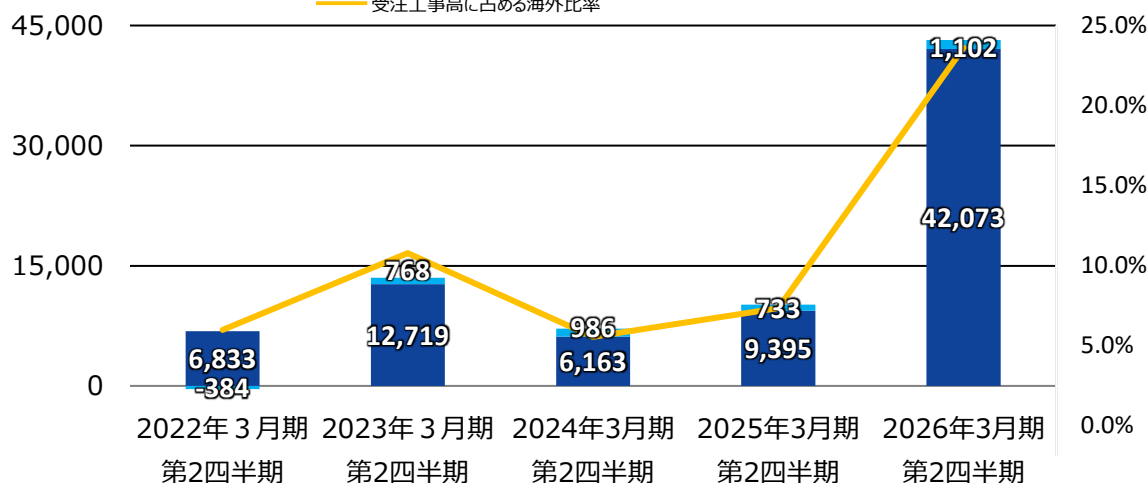
- 海外事業は、シンガポール（支店、DAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.、及びPresico Engineering Pte.Ltd.）、タイ（DAI-DAN（THAILAND） Co.,LTD.）、ベトナム（DAI-DAN（VIETNAM） Co.,LTD.）及び台湾（台灣大暖股份有限公司）を拠点に活動しています。

（単位：百万円）

	2025年3月期			2026年3月期	前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	増減	増減率
海外工事合計（連結）	10,128	29,742	39,870	● 43,175	33,047	↑ 326.3%
（受注比率%）	7.3%	20.7%	14.2%	23.6%	16.3p	—
受注工事高合計	137,866	143,404	281,271	182,870	45,003	32.6%

海外の受注工事高の推移(連結)

（単位：百万円）



- シンガポールは、大型プロジェクトの研究施設や医療関連施設の受注及びPresico社を連結子会社化したことにより、全体で大幅な増加となりました。
- 上記の結果、受注工事高は前期と比べ、33,047百万円増の43,175百万円となりました。

リニューアル・直接工事の状況

(単位：百万円)

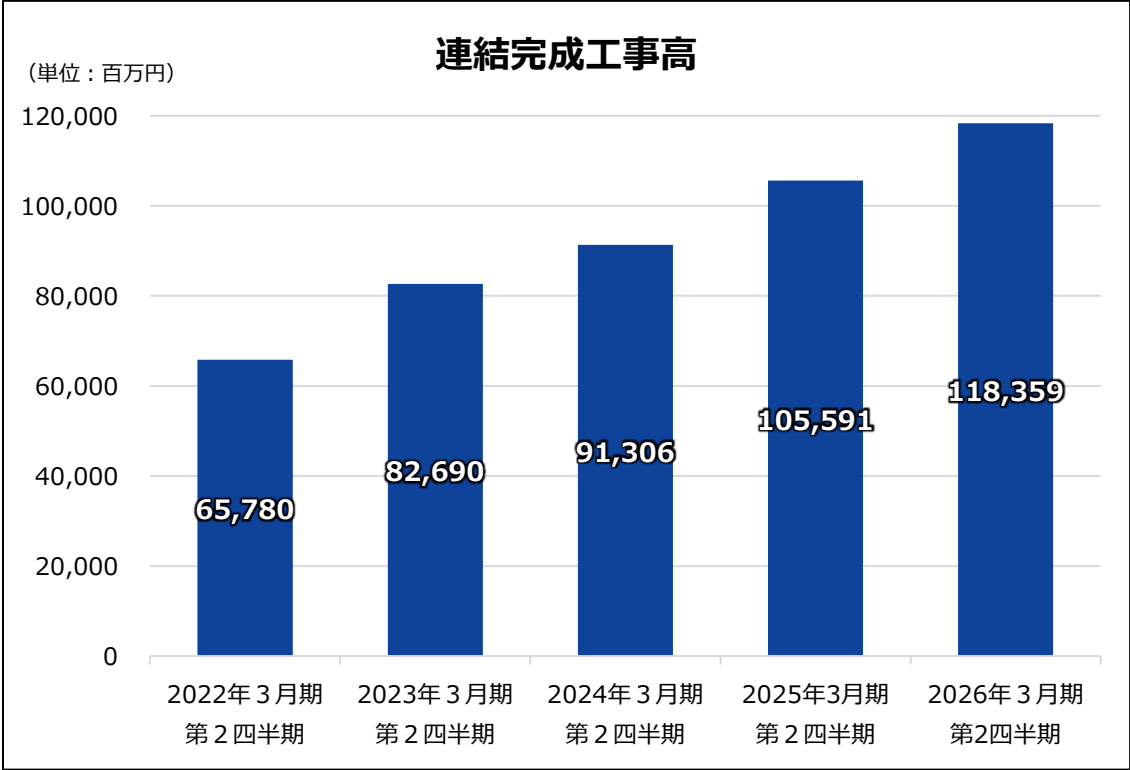
	2025年3月期			2026年3月期	前期比	
	上半期	下半期	通期	上半期	増減	増減率
リニューアル工事	51,628	59,372	111,000	● 76,840	25,212	↑ 48.8%
リニューアル比率(%)	37.4%	41.4%	39.5%	42.0%	4.6p	—
大・中規模 の改修工事	25,286	26,478	51,765	39,238	13,951	55.2%
小規模 の改修工事	26,341	32,894	59,235	37,602	11,260	42.7%
新築工事	86,238	84,032	170,270	● 106,029	19,791	↑ 22.9%
受注工事高合計	137,866	143,404	281,271	182,870	45,003	32.6%
うち、直接受注	73,259	66,718	139,977	● 98,122	24,863	↑ 33.9%
直接比率(%)	53.1%	46.5%	49.8%	● 53.7%	0.5p	—

- 上半期は、受注工事高が過去最高水準となり、リニューアル工事は、大・中規模、小規模とも高水準で推移しました。
- 新築工事の受注工事高は、海外の大型医療関連施設等の受注により、増加しました。
- 直接受注は、官公庁や海外の大型工事受注により増加し、直接比率は53.7%となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	105,591	—	● 118,359	—	12,768	↑ 12.1%
(産業施設工事)	49,903	47.3%	66,728	56.4%	16,824	33.7%
(海外工事)	6,117	5.8%	13,682	11.6%	7,565	123.7%
(リニューアル工事)	32,684	31.0%	37,879	32.0%	5,194	15.9%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

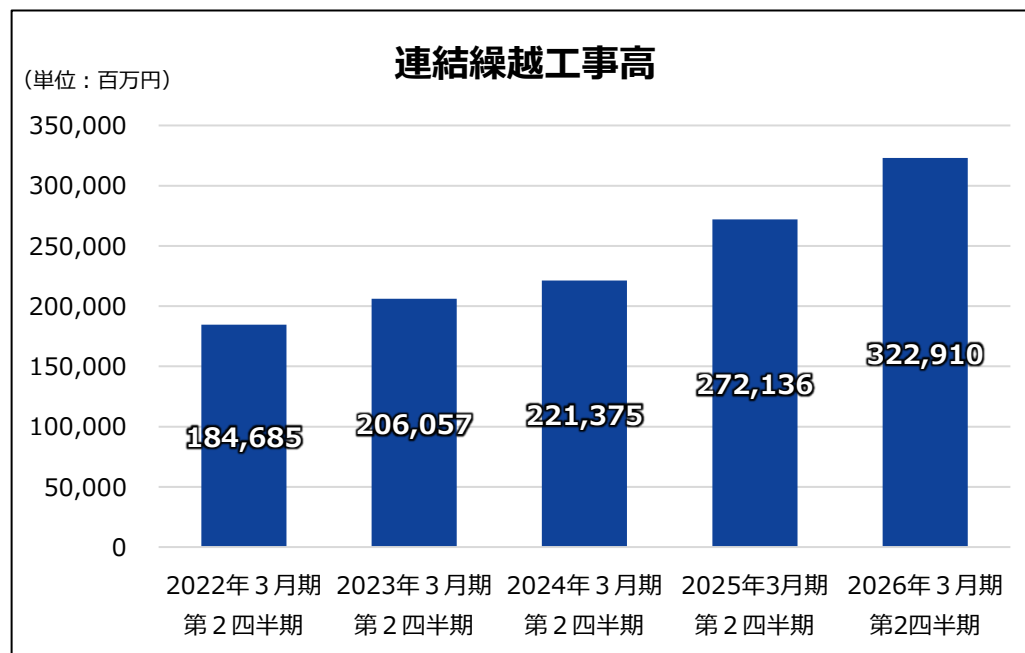


- 完成工事高は、前期から繰り越した大型の産業施設工事等が進捗したことおよびその一部が竣工をむかえたことにより、過去最大値となりました。
- 上記の結果、産業施設工事の構成比が56.4%に上昇しました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第2四半期		2026年3月期 第2四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	239,861	—	258,400	—	18,539	7.7%
受注工事高	137,866	—	182,870	—	45,003	32.6%
完成工事高	105,591	—	118,359	—	12,768	12.1%
期末繰越工事高	272,136	—	● 322,910	—	50,774	↑ 18.7%
（産業施設工事）	150,836	55.4%	138,754	43.0%	▲ 12,082	▲ 8.0%
（海外工事）	18,411	6.8%	64,185	19.9%	45,774	248.6%
（リニューアル工事）	57,473	21.1%	102,331	31.7%	44,857	78.0%

※リニューアル工事、産業施設工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- 期首繰越工事高と完成工事高が増加した中、受注工事高も完成工事高を上回る受注を確保したことにより、期末繰越工事高は過去最高となりました。
- 産業施設工事や医療関連施設等の大規模案件及び海外案件を中心に、期末繰越工事高は引き続き高水準で推移する見込みです。

(単位：百万円)

		2025年3月期	2026年3月期	増減	増減率
受注工事高	4～6月	74,864	66,492	▲8,372	▲11.2%
	7～9月	63,001	116,378	53,376	84.7%
	4～9月	137,866	182,870	45,003	32.6%
完成工事高	4～6月	44,325	60,147	15,822	35.7%
	7～9月	61,266	58,212	▲3,054	▲5.0%
	4～9月	105,591	118,359	12,768	12.1%
営業利益	4～6月	1,725	9,703	7,978	462.5%
	7～9月	5,058	7,880	2,822	55.8%
	4～9月	6,783	17,583	10,800	159.2%

2026年3月期
第2四半期決算

2026年3月期
通期業績予想

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2025年3月期			2026年3月期				前期比 通期		【参考】 通期予想比 進捗率 (上半期/今回予想)
	上半期	下半期	通期	通期 (前回予想)	上半期	下半期 (予想)	通期 (今回予想)	増減	増減率	
期首繰越工事高	—	—	239,861	258,400	—	—	258,400	18,539	7.7%	—
受注工事高	137,866	143,405	281,271	●283,000	182,870	137,130	●320,000	38,729	13.8%	57.1%
期末繰越工事高	272,136	226,125	258,400	281,400	322,910	253,889	318,400	60,000	23.2%	—
完成工事高	105,591	157,141	262,732	260,000	118,359	141,641	260,000	▲2,732	▲1.0%	45.5%
完成工事総利益	14,859	26,490	41,349	●46,500	27,470	23,530	●51,000	9,651	23.3%	53.9%
完成工事総利益率(%)	14.1%	16.9%	15.7%	17.9%	23.2%	16.6%	19.6%	3.9p	—	—
営業利益	6,783	16,254	23,037	●23,500	17,583	10,417	●28,000	4,963	21.5%	62.8%
営業利益率(%)	6.4%	10.3%	8.8%	9.0%	14.9%	7.4%	10.8%	2.0p	—	—
経常利益	6,999	16,480	23,479	23,800	18,137	10,163	28,300	4,821	20.5%	64.1%
経常利益率(%)	6.6%	10.5%	8.9%	9.2%	15.3%	7.2%	10.9%	1.9p	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,454	11,989	17,443	17,600	12,520	7,980	20,500	3,057	17.5%	61.1%
当期純利益率(%)	5.2%	7.6%	6.6%	6.8%	10.6%	5.6%	7.9%	1.2p	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	—	—	17.4%	15.9%	—	—	18.3%	0.9p	—	—

連結業績予想の修正（前回予想との差）

※詳細は、2025年11月7日付公表の「2026年3月期業績予想の修正、配当予想の修正（増配）、株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」をご覧ください。

- 受注工事高は、引き続き好調に推移している国内の受注状況に加え、海外の大型案件の受注などを受け、37,000百万円増の320,000百万円となる見通しです。なお、受注工事高の増加分は翌期以降に進捗する工事であり、当期の完成工事高に変更はありません。
- 完成工事総利益は、手持ち工事の利益改善が期首の想定より上振れる見込みであることなどにより、4,500百万円増の51,000百万円となる見通しです。完成工事総利益の増加を受け営業利益も4,500百万円増の28,000百万円となる見通しです。
- この結果、各項目で過去最高水準となる見通しです。

株式分割及び配当予想の修正（増配）について

当社は、2025年11月7日開催の取締役会において、業績予想の修正、配当予想の修正（増配）、株式分割及び定款の一部変更について決議いたしました。

（※詳細は、2025年11月7日付公表の「2026年3月期業績予想の修正、配当予想の修正（増配）、株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」を参照願います。）

株式分割について

1. 株式分割について

（1）株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、より投資しやすい環境を整え、市場流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

（2）株式分割の概要

①分割の方法

2025年12月31日（水）（当日は株主名簿管理人の休業日につき実質的に2025年12月30日（火））を基準日として、同日の最終の株主名簿に記録された株主の有する当社普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割いたします。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	45,963,802株
今回の分割により増加する株式数	91,927,604株
株式分割後の発行済株式総数	137,891,406株
株式分割後の発行可能株式総数	240,000,000株

③分割の日程

基準日公告日:2025年12月15日（月）、基準日:2025年12月31日（水）、効力発生日:2026年1月1日（木）

株主還元に対する方針

- 当社は、健全な財務体質の構築に努めると共に、経営上の最重要施策である株主への利益還元を進めてまいります。
- 2025年5月9日発表の「中期経営計画「磨くステージ」業績目標および財務戦略指標の見直しに関するお知らせ」の通り、さらなる利益還元及びより安定的な配当政策を進めるため、2026年3月期より「**配当性向40%以上かつ純資産配当率（DOE）4.8%を下限**（前回公表比+0.8pt）」とすること」を新たな配当方針としております。
- 上記方針に基づき、2026年3月期の業績見通しが直近の配当予想公表時における予想値を上回ること等を勘案し、株式分割前の期末配当金を前回発表の普通株式1株につき**普通配当83円から28円引き上げ111円（分割後37円）**とし、この結果、年間配当金は165円から193円となります。

配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	52.00	111.00	163.00	7,032	40.1%	7.0%
2026年3月期（予想） （株式分割前換算）	82.00	37.00 ● (111.00)	— ● (193.00)	8,318	40.3%	7.4%

2026年3月期
第2四半期決算

中期経営計画の 進捗状況

＜磨くステージ＞ 2025年3月期～2027年3月期

- 長期ビジョン2030に向け、グループ総合力を強化する《磨くステージ》です。
- 『空間価値創造企業』を目指し、広くお客さまに価値を届けていきます。

《磨くステージ》 経営方針

人材戦略を基盤とした人づくりの実現により企業価値を高める

事業領域

空調衛生工事

電気工事

海外事業

再生医療事業

収益の基盤と
する事業

変革する
事業

成長する
事業

新たな収益源
とする事業

	《整えるステージ》		《磨くステージ》	
	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期
	実績	実績	業績予想	目標
連結売上高	1974億円	目標 2500億円 ▼ 実績 2627億円	2600億円 (予想)	2700億円
連結営業利益	108億円	目標 150億円 ▼ 実績 230億円	235億円 ▼ 280億円* (予想)	240億円
ROE	10.3%	目標 10%以上 ▼ 実績 17.4%	12%以上 ▼ 18.3% (予想)	12%以上

*2025年11月7日付「2026 年 3 月期業績予想の修正、配当予想の修正（増配）、株式分割及び定款の一部変更に関するお知らせ」による
最終年度の目標は今期末時点の経済情勢・経営環境を踏まえて検討し、翌期首に業績予想として発表

- 新卒採用・キャリア採用ともに採用強化施策は堅調に進展しております。
- 次ステップとして人材の育成強化施策に着手し、従業員個人の能力向上を効果的に促進いたします。

従業員個人の能力向上

《磨くステージ》の戦略

教育効果の 高い研修制度 の構築



研修施設の 建替え・高度化



取り組み事項

■ 従業員のキャリアアップにあわせた段階的な研修制度を整備

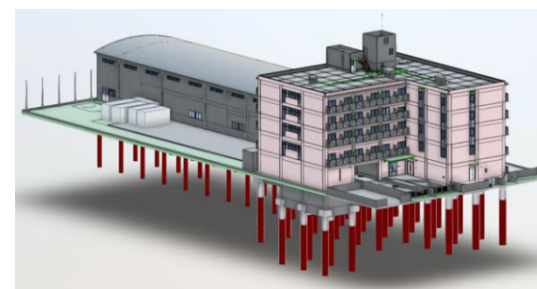
- 新入社員研修では、6ヵ月間の集合研修を通じて、研修中の資格取得推進など早期に現場で活躍できる人材を育成
- 技術本部教育研修・WLB推進部を新設し、技術者の育成体制を強化
 - 現場における判断力やリーダーシップの強化を目指し、現場代理人マネジメント研修を新設
 - 多様な人材が現場で即戦力として活躍できる環境づくりのため、正社員だけでなく派遣社員にも研修を提供

■ 八尾研修所の高度化改修着手

- 「次世代の価値創造を目指すための人材育成（成長・学び）の場」をテーマに、八尾研修所の改修プロジェクトを本年10月に本格着工
- 本研修所の改修を通じて、次世代を担う多様な人材が成長できる研修環境を整備



学びの場のイメージ



新研修所のBIMモデル

戦略的な人材育成

- 人的資本への継続的な投資を通じて、企業価値創造の担い手である従業員が、企業価値創造への取り組みに主体的かつ安心して参画できる環境を整備しています。

組織風土の変革

《磨くステージ》の戦略

働きがいと働きやすさの両立

従業員 エンゲージメント の向上



健康経営の 推進



取り組み事項

■ 給与ベースアップ[°]

- ・ 物価高騰や労働市場の変化に対応し、優秀な人材の確保・定着を図るため、2025年4月に前年に引き続きベースアップを実施（定期昇給を含め7.45%）
- ・ 上場来最高完工高・同営業利益を大幅に更新したことを踏まえ、今後の成長を支える人材への投資として特別賞与を支給

■ 従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブ制度導入

- ・ 従業員持株会の会員に対して当社株式を付与
- ・ 当社の持続的な企業価値向上を目的に、役職員がその実現に主体的に取り組むことを促す仕組みを強化

■ 健康経営優良法人2025ホワイト500取得

- ・ 健康経営に係る計画の策定・実施・検証・社内展開を継続し、役職員の健康保持増進と生産性向上を推進
- ・ 過去5年連続の健康経営優良法人認定に続き、自社初となる「健康経営優良法人2025ホワイト500*（大規模法人部門）」の認定を取得

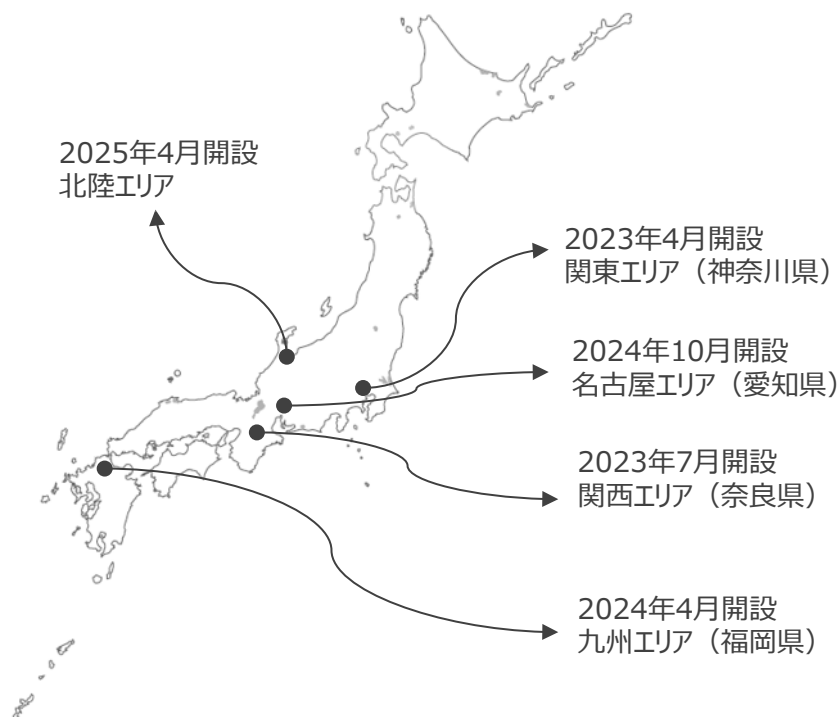


*ホワイト500：「健康経営優良法人認定制度」に認定された大規模企業のうち、上位500社に入った企業に与えられる称号

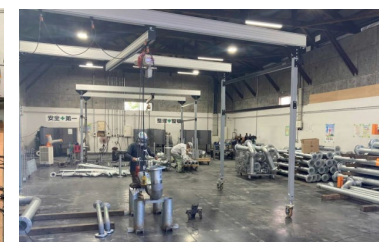
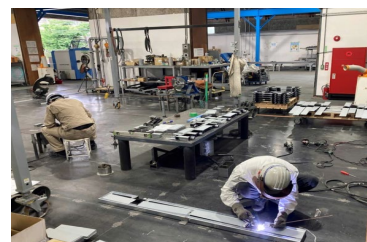
- 配管加工によるプレハブ化・ユニット化のためのオフサイト施設拡充と活用拡大を促進しています。
- 大型現場に近いロケーションに機動的に配置するなど、今後も柔軟な展開を行っていきます。

国土交通省「働き方改革の実現に向けた効率的な建設工事の促進事業」に係るモデル事業に採択されています

- ・ オフサイト施設(生産拠点)による現場作業工数、運搬車両の削減と工程の短縮
- ・ 大手町駅第7 空調機械室更新工事におけるオフサイト施設(生産拠点)による加工工数と材料運搬車両台数の低減



関東エリア（神奈川県川崎市） オフサイト施設



施設の稼働状況

北陸エリア（富山県富山市） オフサイト施設

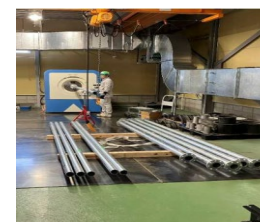


配管加工状況



加工済み空調配管

名古屋エリア（愛知県名古屋市） オフサイト施設



配管フレア加工



加工配管搬出

オフサイト施設活用によるメリット

- 加工管メーカーの繁忙度に左右されずタイムリーな搬入が可能
- 現場工数の削減及び加工管ストックにより、現場作業の標準化及び工程のズレに柔軟に対応
- 配管加工の端材をストックし、再利用する事で、材料費を削減
- 配管技能士試験 実地試験講習会開催により、協力会社育成に寄与

- 施工力維持・向上の重要なパートナーである協力会社との「パートナーシップ強化」に向けて、積極的な支援と連携を推進しています。

パートナーシップ構築宣言

- ・ 共存共栄・取引適正化に向けて、2022年12月「パートナーシップ構築宣言」に賛同
- ・ 更なる関係強化の取り組みの一環として、全てのお取引先様に対する支払い条件を全額現金に切り替え
- ・ 協力会社との価格決定に当たり、適正なコストについての十分な協議を推進

求人活動の支援

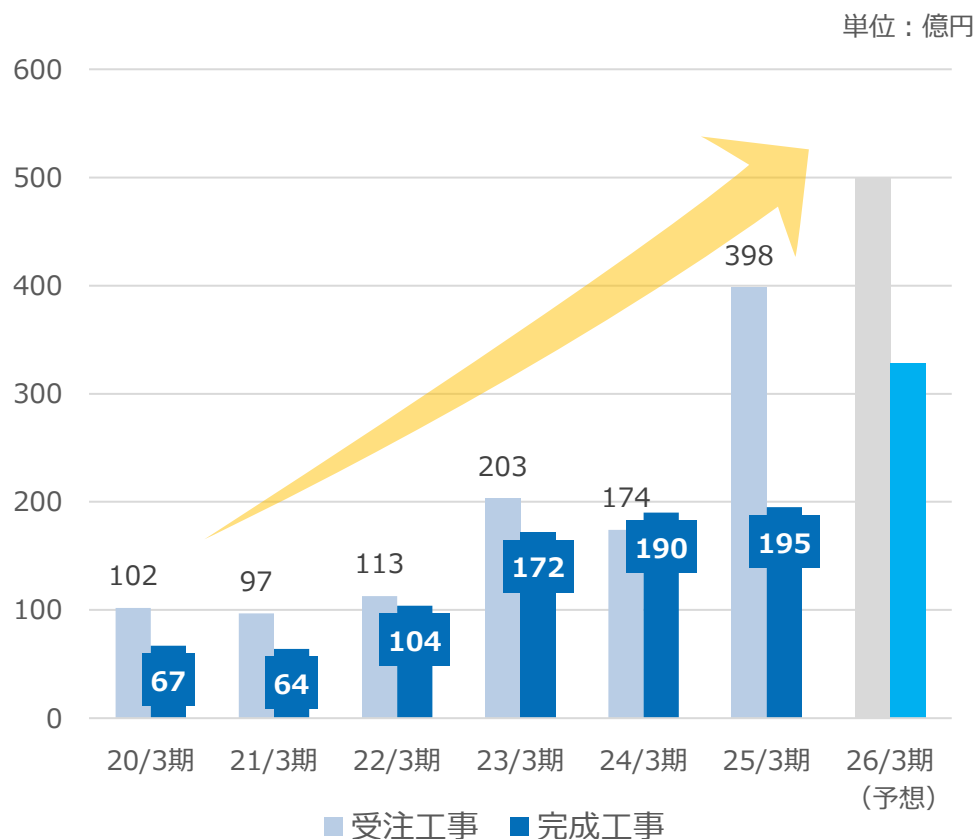
- ・ 当社HPに「協力会社の求人情報サイト」を設け、167社の求人活動を支援(昨年度より)
- ・ 建設業に特化した求人サイトに当社特設バナーを設け、6社の求人活動と連携（今年7月より）

マイスター制度の活用

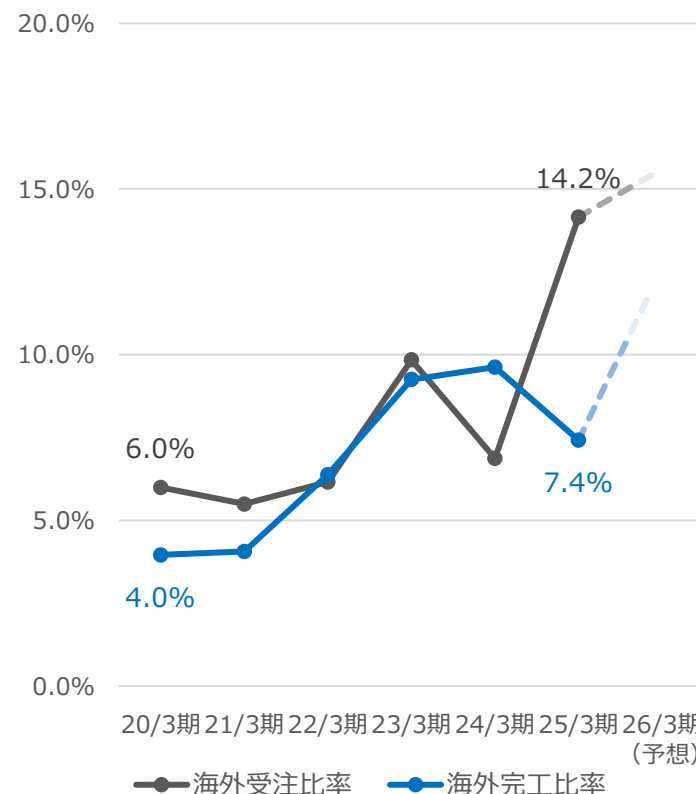
- ・ 協力会社所属の技能者から認定したマイスター57名と優良職長190名が全国作業所で活躍
- ・ 認定者には、当社作業所への貢献度（稼働日数）に応じて、表彰金を支給
- ・ 協力会社技能者のスキルアップのため、資格取得者の受験費用に対して、表彰金を支給
- ・ 貢献度の高い協力会社延べ99社を優良協力会社として表彰
- ・ 顕著な貢献を続ける協力会社を優秀協力会社として認定する制度を新設、初回3社を優秀協力会社として認定

- 海外事業は着実な成長を継続しており、シンガポールのPresico社も連結に加わったことで、受注水準が大幅に上昇しています。
- シンガポールを中心に海外事業基盤を攻守両面で安定化させており、海外事業がグループ全体に占める存在感は着実に拡大しています。

海外事業の受注・売上



海外比率の推移



- 再生医療の産業化・普及を見据え、当社グループの次世代の事業基盤として事業化に取り組んでいます。
- ハード（機器販売事業）とソフト（細胞製造受託事業）の両輪で、新商品・サービスの開発、アライアンス、投資等を継続的に進めています。

ハード 医療施設関連機器販売事業

■ 採用実績に基づく機器販売の拡大

- － セラボ羽田（藤田医科大学東京）・慶応病院・神戸アイセンター等
- ・ 業界KOL^{*1}からの発信や使用者の口コミにより、当社開発機器「オールインワンCPユニット®（AIO）」の引き合いが増加
- ・ 低コストでコンパクトな製造環境がニーズにマッチ

^{*1} KOL : Key Opinion Leader 対象領域で影響力を持つ専門家

ソフト 細胞製造受託事業

■ 小児固形がん向け治験薬の納品を開始

- ・ CDMO^{*2}としてセラボ殿町で細胞製造を実施

■ 細胞加工技術を活かした顧客拡大

- ・ 治療用細胞の製造受託
- ・ 研究用途など特殊な細胞製造の受託

^{*2} CDMO : Contract Development and Manufacturing Organization
医薬品開発製造受託事業

ハード & ソフト 治験薬製造サポートサービス

■ 運用支援付きレンタルCPF「ふらっとAIO」の提供を開始

- － セラボ川崎
- ・ アーリーステージのベンチャーや研究機関等をユーザーとして想定
- ・ レンタル用細胞培養ユニットを整備
- ・ セラボHS社スタッフが小規模製造と製造ノウハウ教育などの支援を実施



- ESGの各側面における取り組みを通じて、持続的な企業価値の向上と社会課題の解決への貢献を進化させています。

ESGに関する取り組み

環境 (E)

■ SBT認定取得

当社が策定した温室効果ガス排出量の削減目標が、SBTi*より科学的根拠に基づく短期目標として認定

※SBTiは、CDP、国連グローバル・コンパクト（UNGC）、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）が共同で運営する国際的な枠組み

■ CDP評価・開示対応

CDP*の評価枠組みに基づき、気候変動対応に関する情報開示を推進

※CDPIは、企業の環境情報開示を促進する国際的な非営利団体。当社は気候変動分野でマネジメントランク「B」の評価を取得



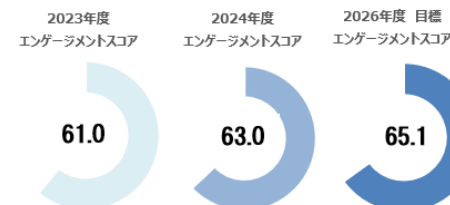
社会 (S)

■ エンゲージメントサーベイの実施

従業員の意識や職場環境を継続的に把握、組織課題の可視化とマネジメント改善に活用

※株式会社アトラエのエンゲージメントサーベイツール “Wevox” を使用

※2026年度目標は、建設・不動産および1,001人～ 5,001人のスコアを参考指標として設定



ガバナンス (G)

■ コンプライアンス体制の強化

コンプライアンス意識のさらなる浸透とリスクの未然防止を目的に、「コンプライアンスガイドブック」を全従業員に配布し、日常業務における判断支援に活用。また、内部通報・相談窓口の運用を強化し、取締役会への定期報告を通じて透明性の確保を徹底

■ 役員研修の強化

役員スキルマトリクスを再定義し、役員の経営判断力およびマネジメント力の強化を目的とした体系的研修を開始



2026年3月期 第2四半期決算説明

2025年11月7日



The background is a solid dark blue. On the right side, there are several overlapping, semi-transparent light blue shapes that resemble stylized, thick curved arrows or segments of a circle, pointing towards the right. These shapes are layered, with some appearing in front of others, creating a sense of depth.

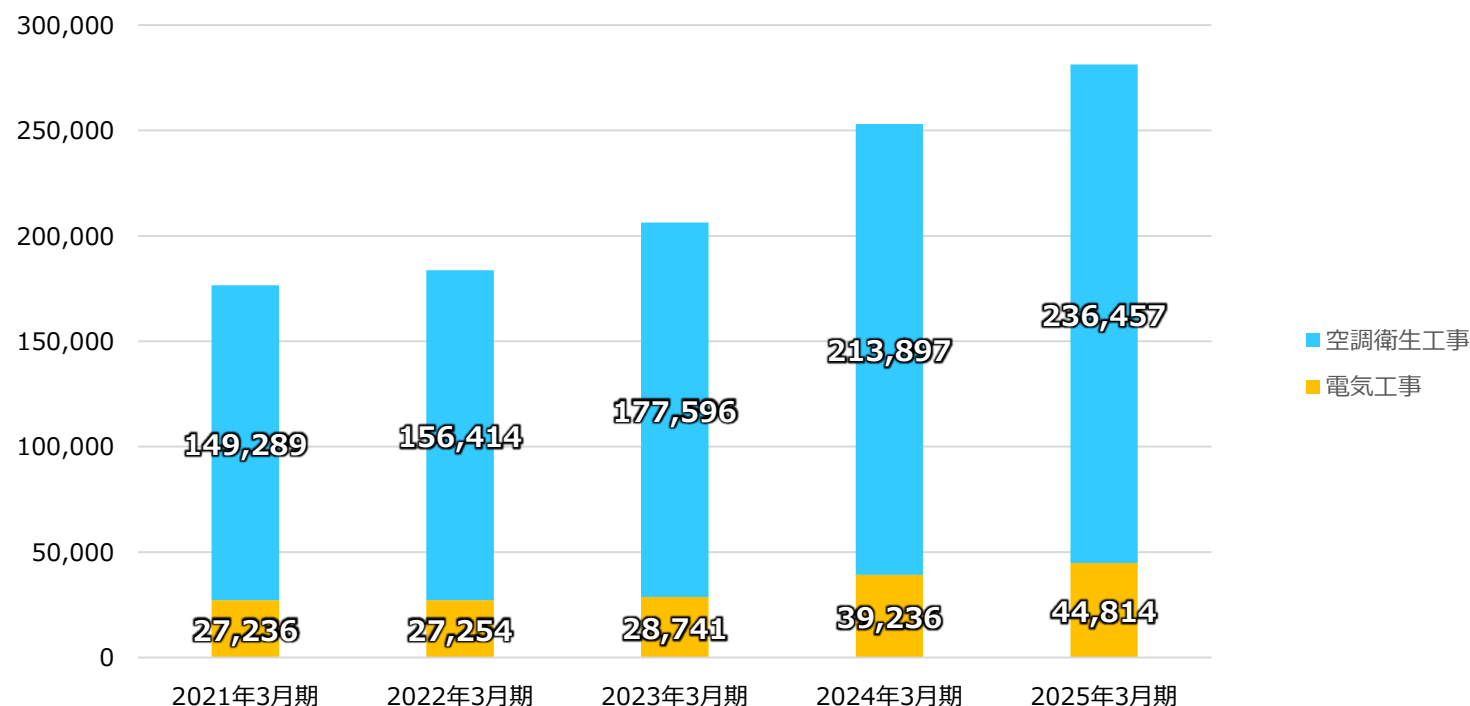
<参考>
DATA FILE
〔通期〕

（単位：百万円）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
空調衛生工事	149,289	156,414	177,596	213,897	236,457
電気工事	27,236	27,254	28,741	39,236	44,814
合計	176,526	183,668	206,337	253,134	281,271

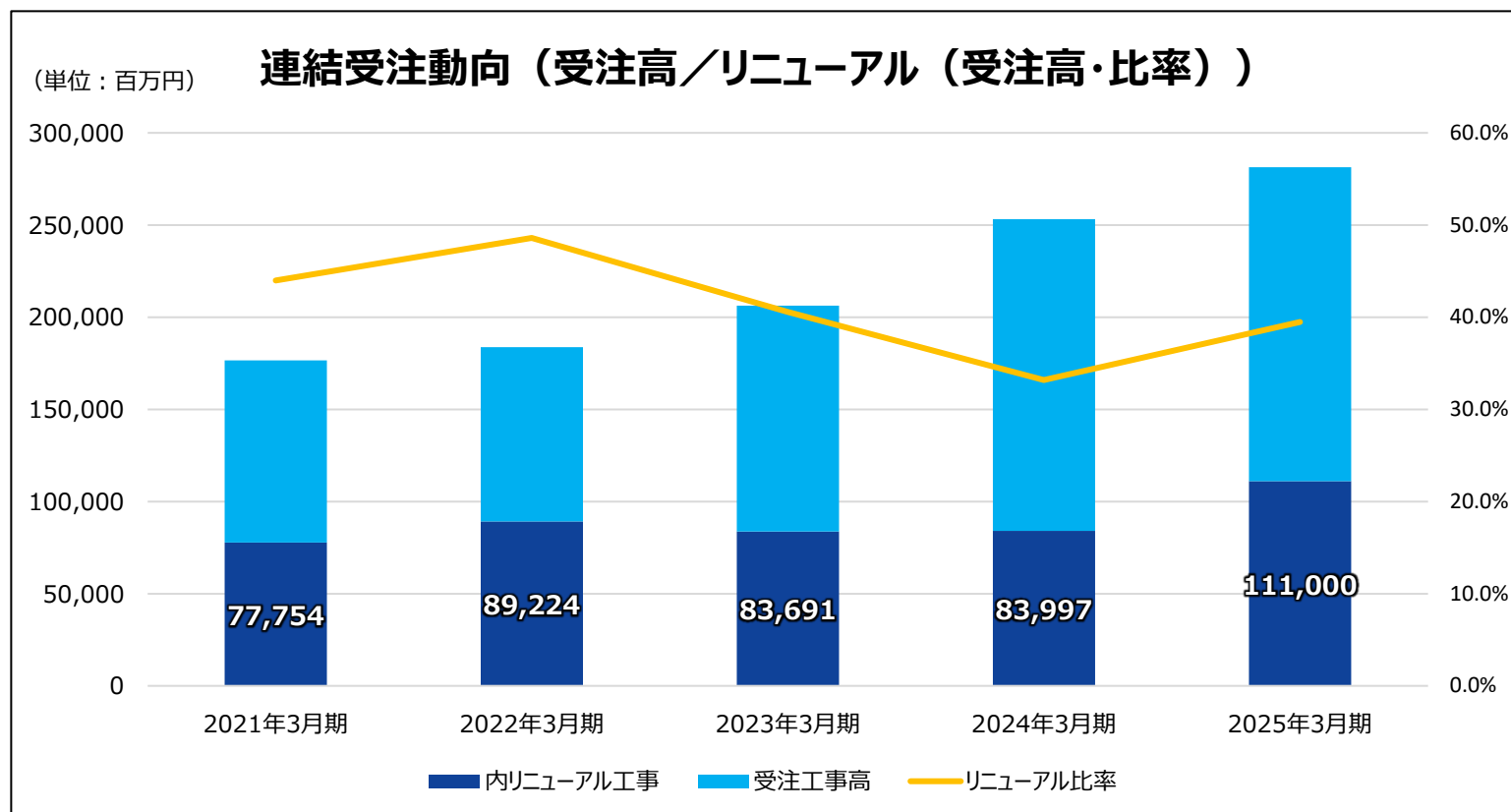
（単位：百万円）

連結受注工事高（工種別）

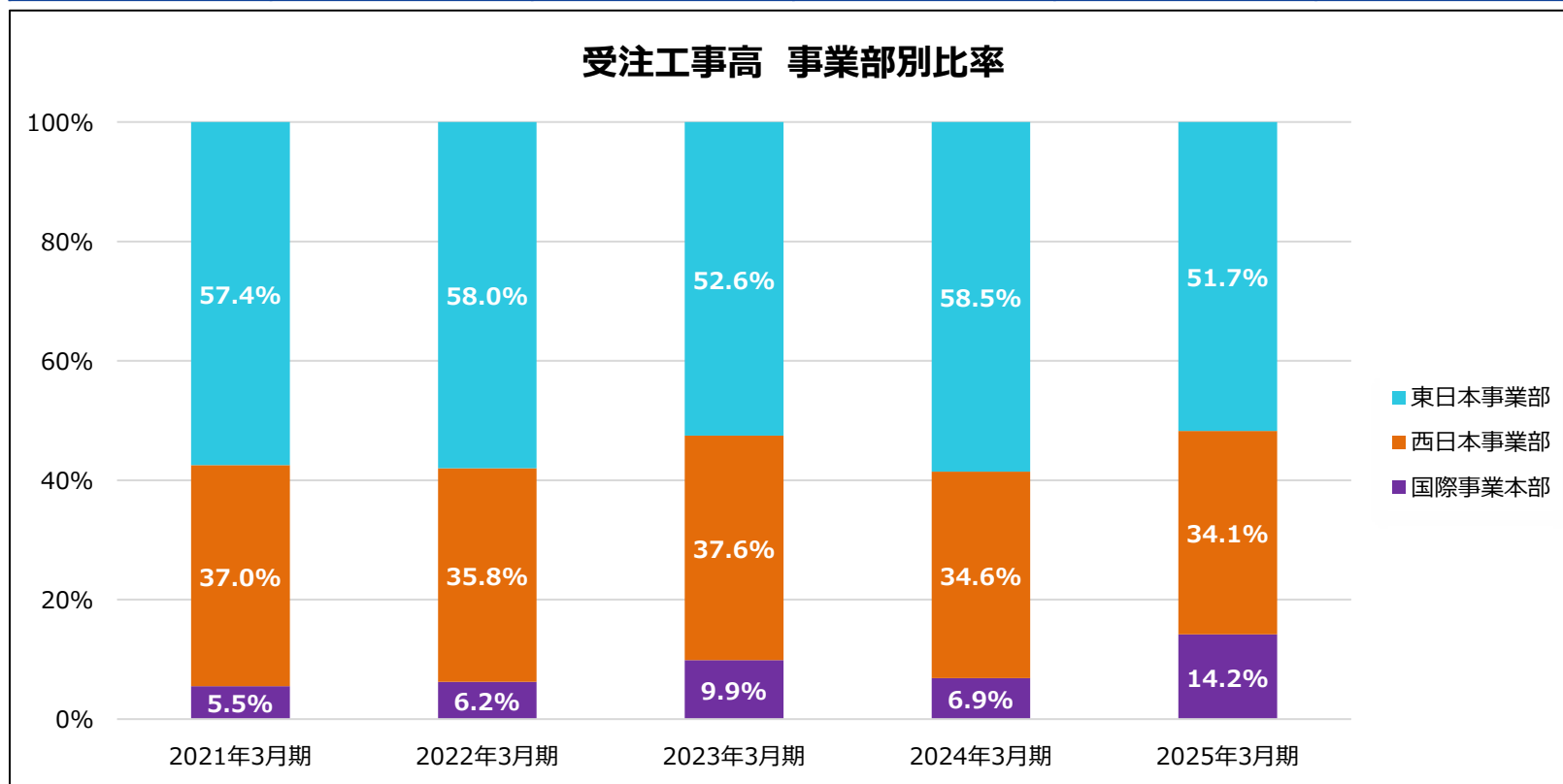


（単位：百万円）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
受注工事高	176,526	183,668	206,337	253,134	281,271
リニューアル工事	77,754	89,224	83,691	83,997	111,000
リニューアル比率	44.0%	48.6%	40.6%	33.2%	39.5%

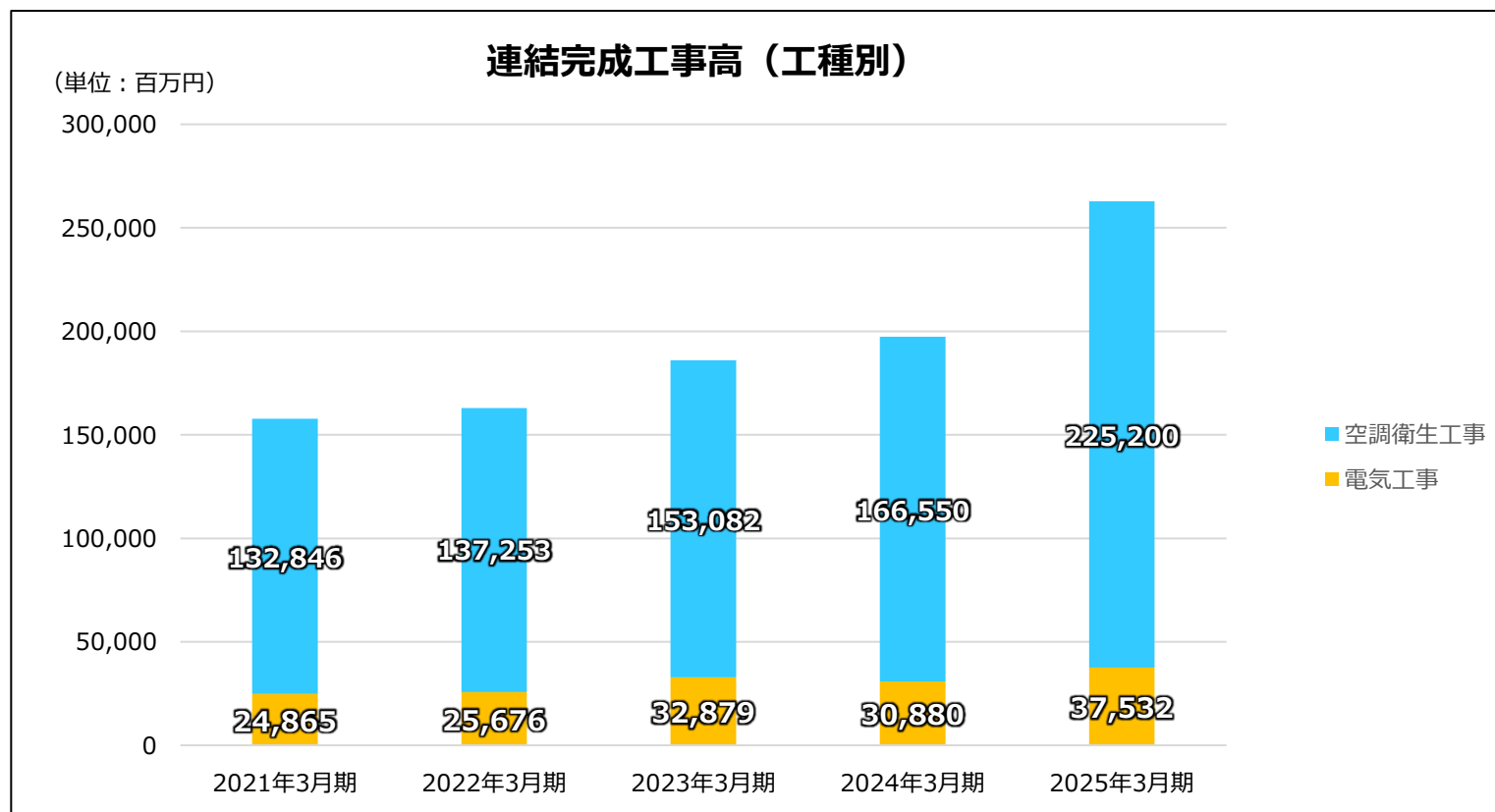


	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
東日本事業部	57.4%	58.0%	52.6%	58.5%	51.7%
西日本事業部	37.0%	35.8%	37.6%	34.6%	34.1%
国際事業本部	5.5%	6.2%	9.9%	6.9%	14.2%

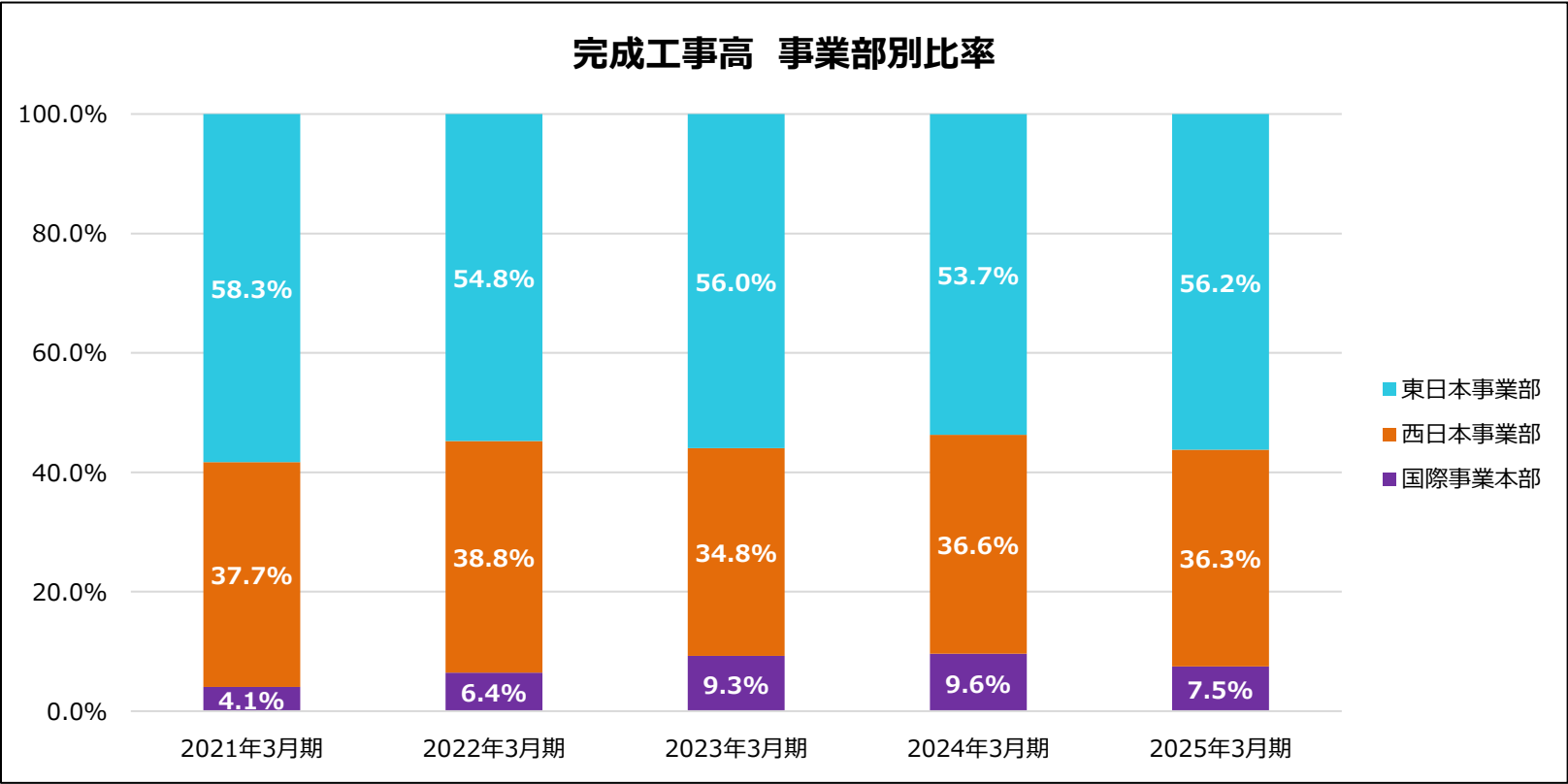


（単位：百万円）

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
空調衛生工事	132,846	137,253	153,082	166,550	225,200
電気工事	24,865	25,676	32,879	30,880	37,532
合計	157,712	162,929	185,961	197,431	262,732



	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
東日本事業部	58.3%	54.8%	56.0%	53.7%	56.2%
西日本事業部	37.7%	38.8%	34.8%	36.6%	36.3%
国際事業本部	4.1%	6.4%	9.3%	9.6%	7.5%

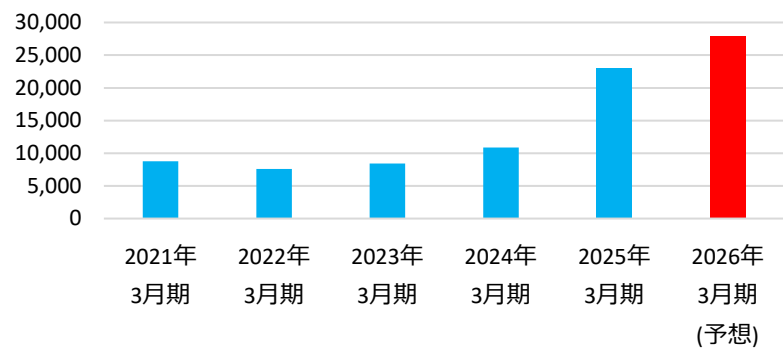


（単位：百万円）

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期 (予想)
営業利益	8,754	7,584	8,428	10,877	23,037	28,000
経常利益	9,262	8,095	9,288	11,918	23,479	28,300
当期純利益	6,318	5,778	6,626	9,087	17,443	20,500

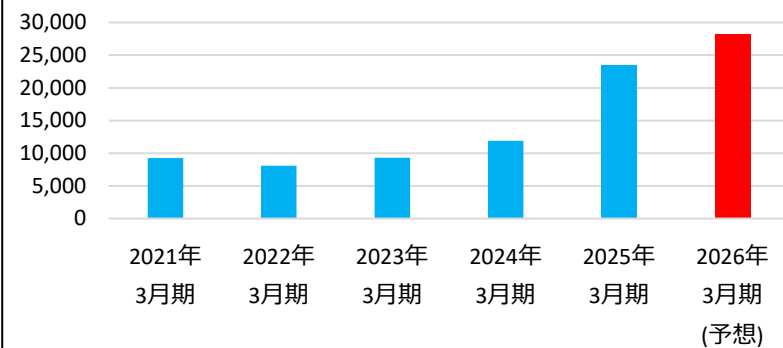
営業利益

（単位：百万円）



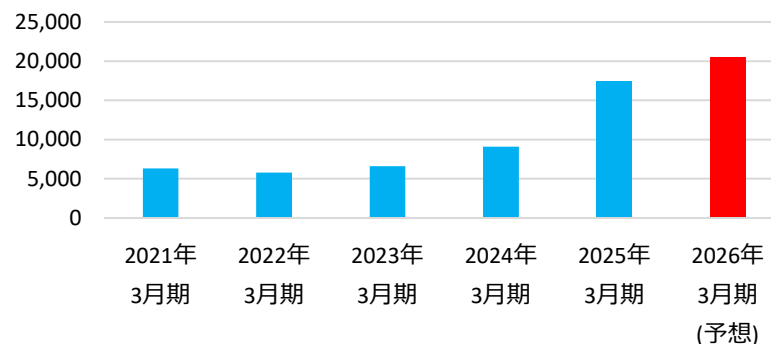
経常利益

（単位：百万円）



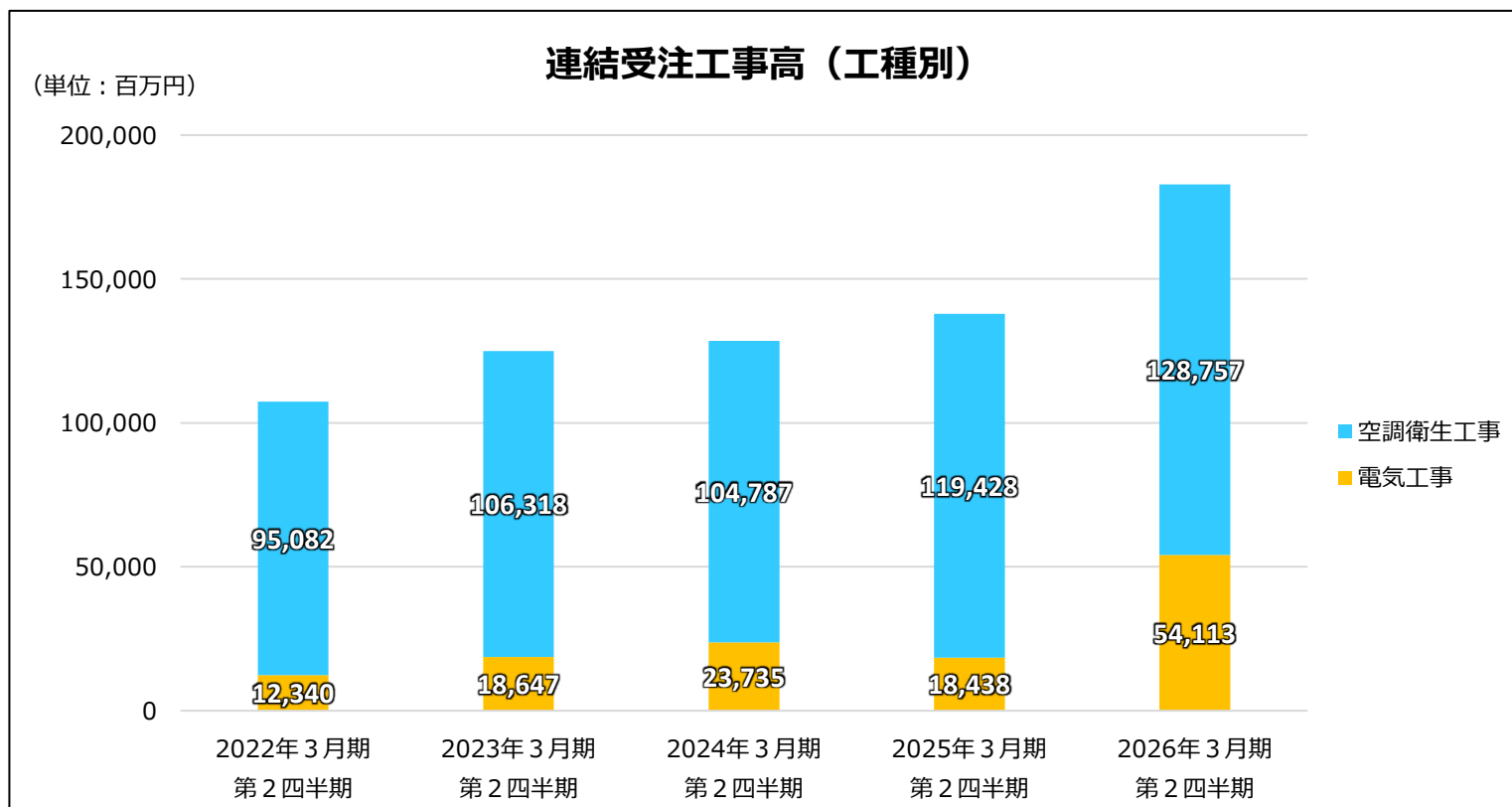
当期純利益

（単位：百万円）



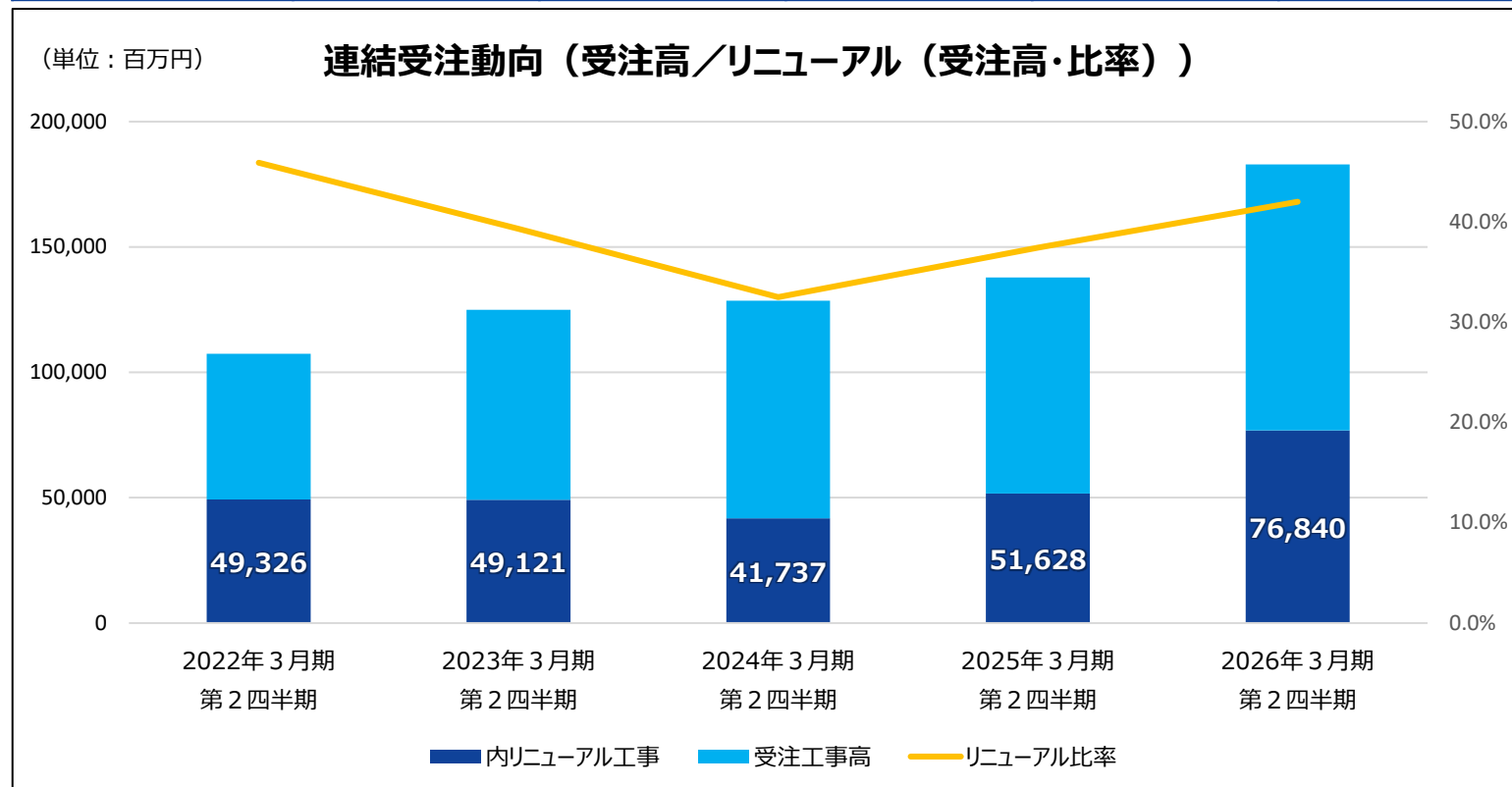
（単位：百万円）

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
空調衛生工事	95,082	106,318	104,787	119,428	128,757
電気工事	12,340	18,647	23,735	18,438	54,113
合計	107,423	124,966	128,523	137,866	182,870

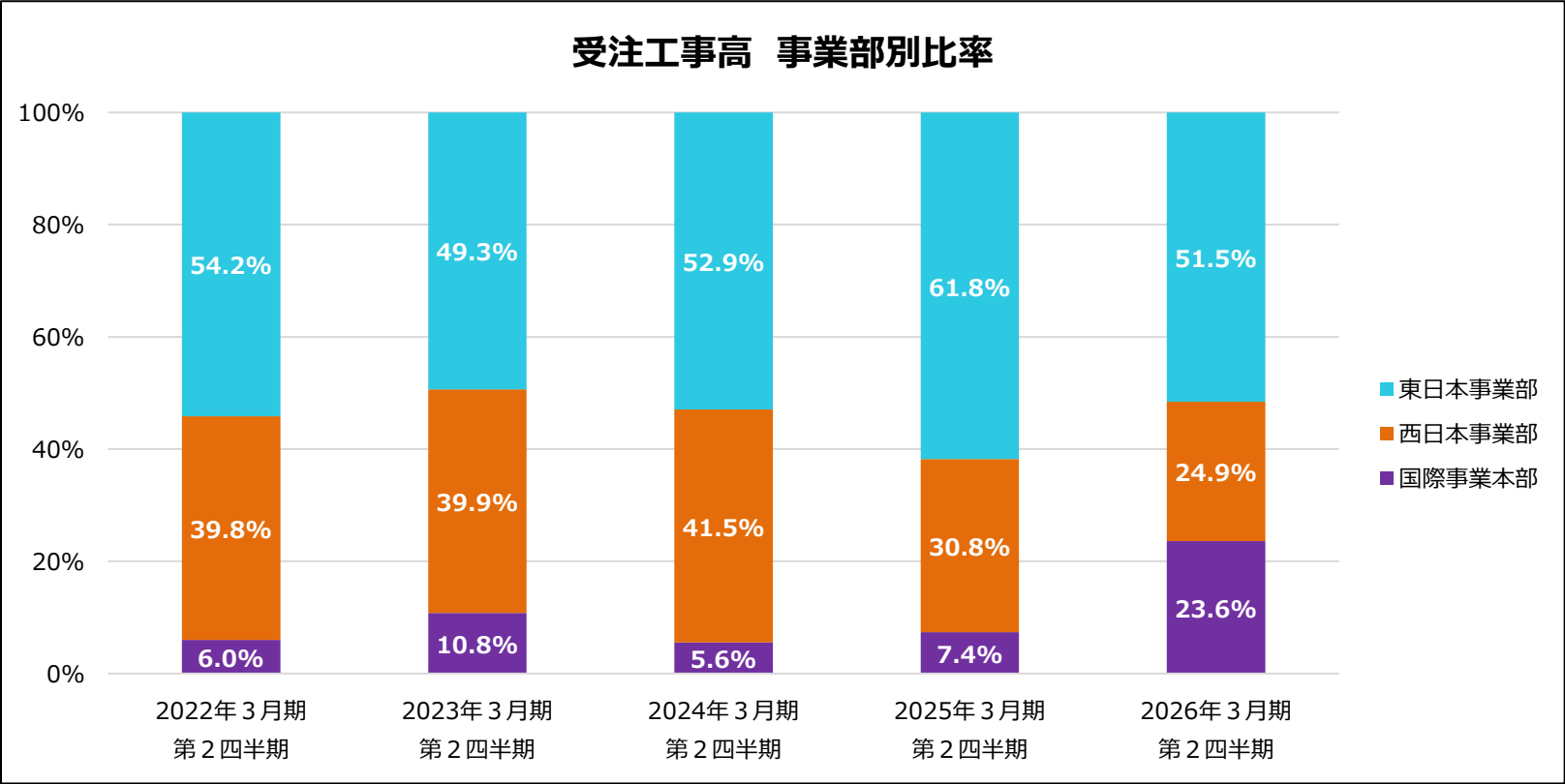


（単位：百万円）

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
受注工事高	107,423	124,966	128,523	137,866	182,870
リニューアル工事	49,326	49,121	41,737	51,628	76,840
リニューアル比率	45.9%	39.3%	32.5%	37.4%	42.0%



	2022年 3 月期 第 2 四半期	2023年 3 月期 第 2 四半期	2024年 3 月期 第 2 四半期	2025年 3 月期 第 2 四半期	2026年 3 月期 第 2 四半期
東日本事業部	54.2%	49.3%	52.9%	61.8%	51.5%
西日本事業部	39.8%	39.9%	41.5%	30.8%	24.9%
国際事業本部	6.0%	10.8%	5.6%	7.4%	23.6%

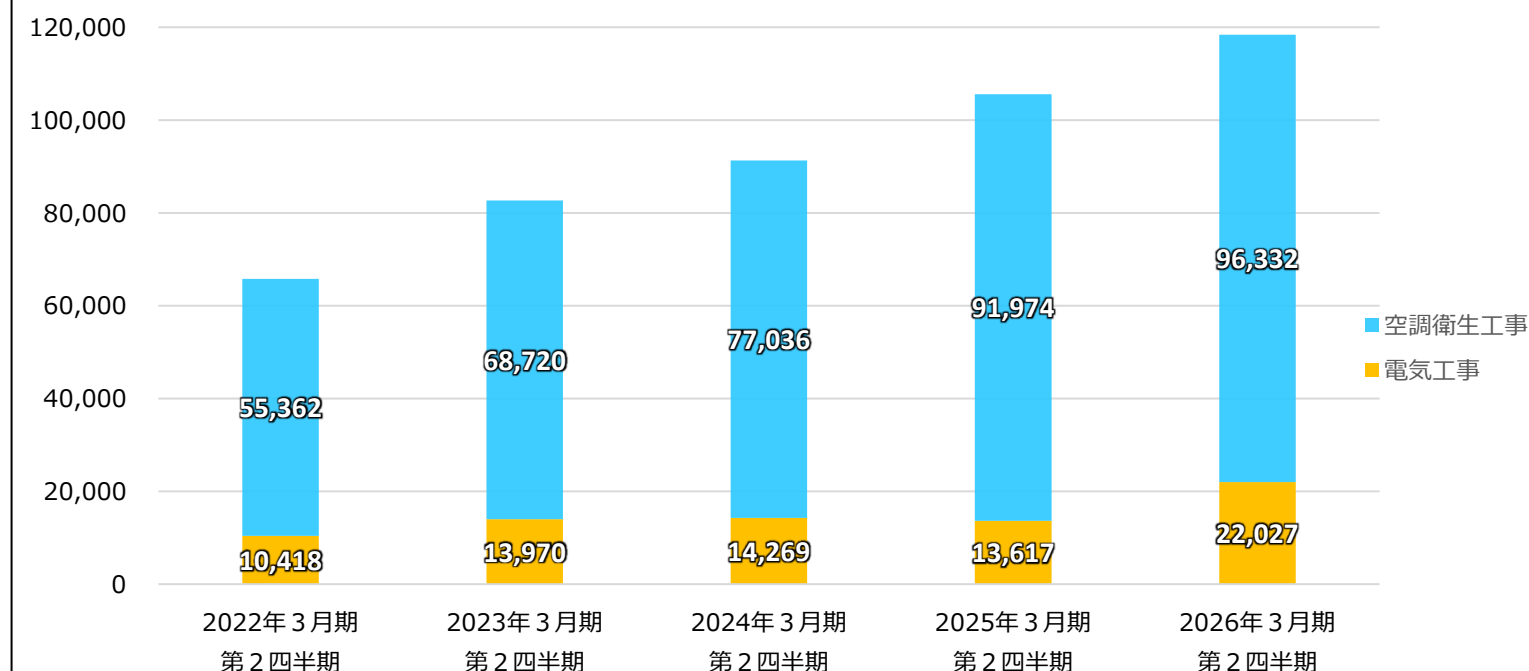


（単位：百万円）

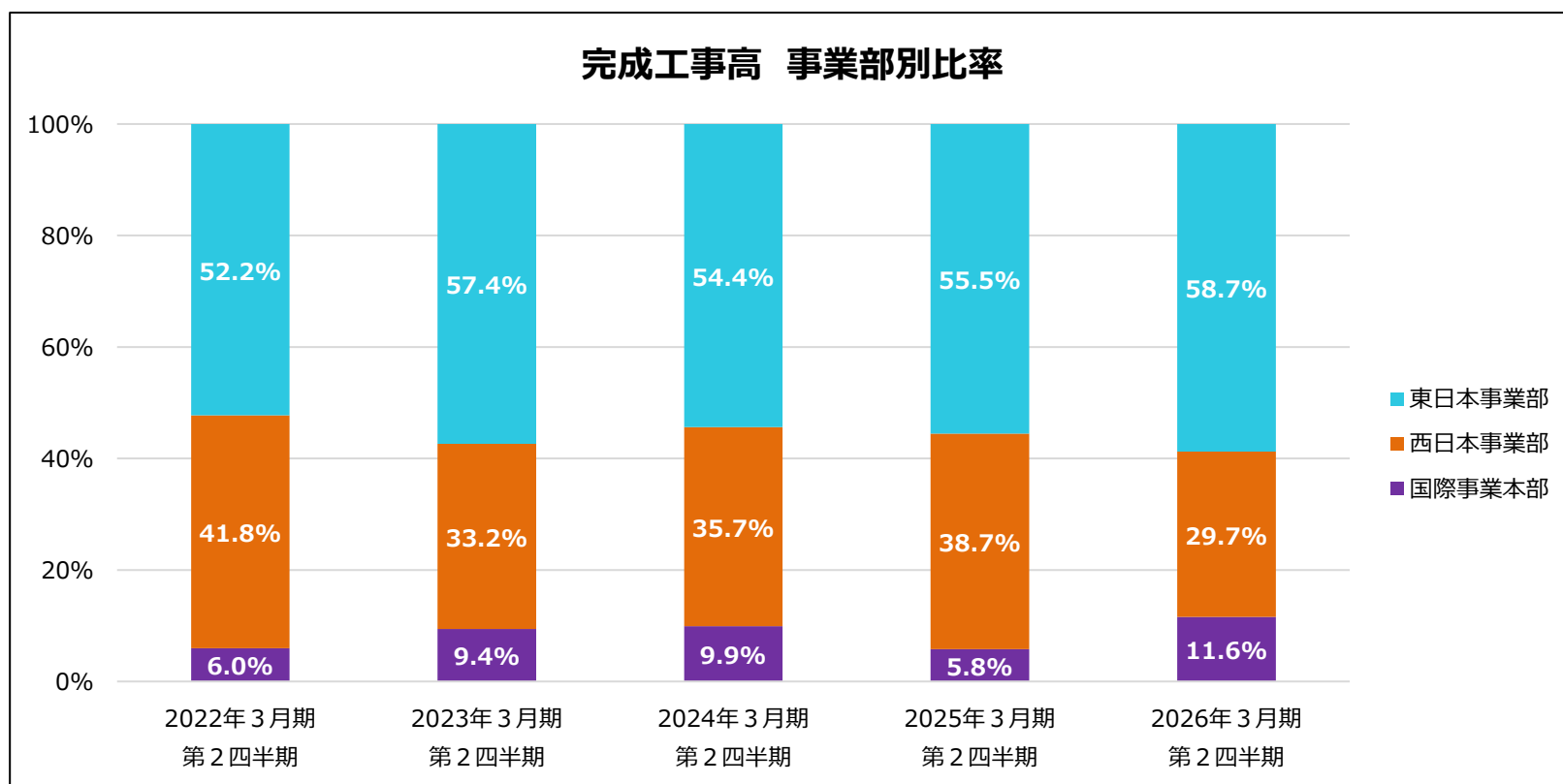
	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
空調衛生工事	55,362	68,720	77,036	91,974	96,332
電気工事	10,418	13,970	14,269	13,617	22,027
合計	65,780	82,690	91,306	105,591	118,359

連結工事完工高（工種別）

（単位：百万円）

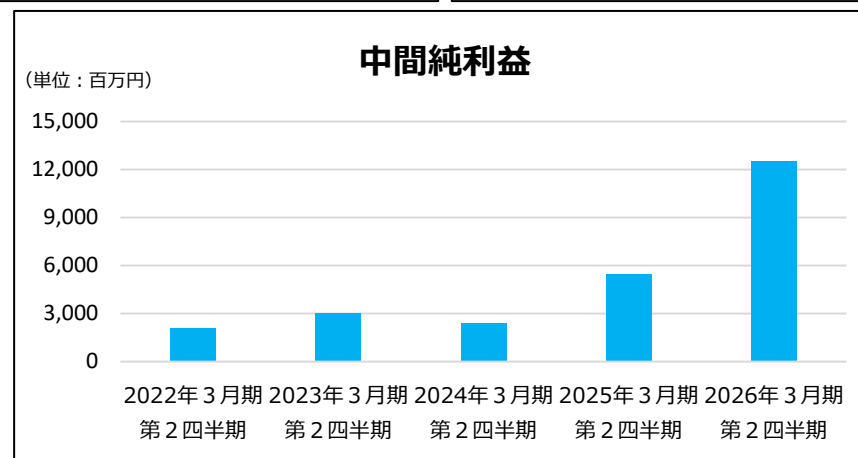
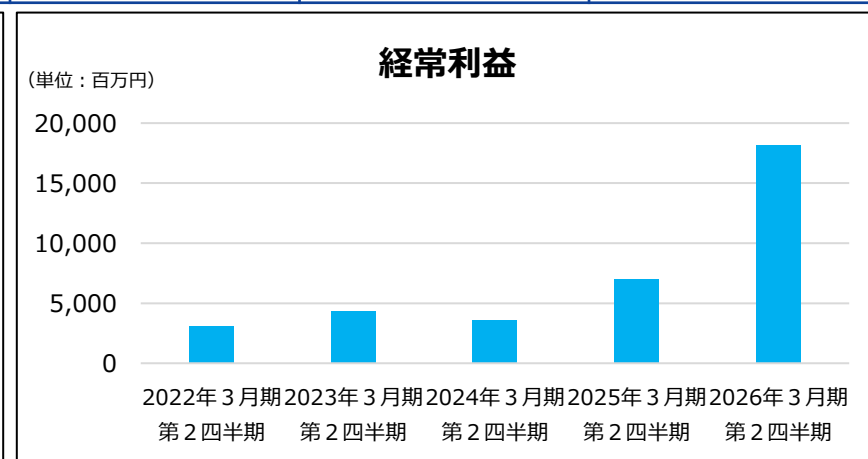
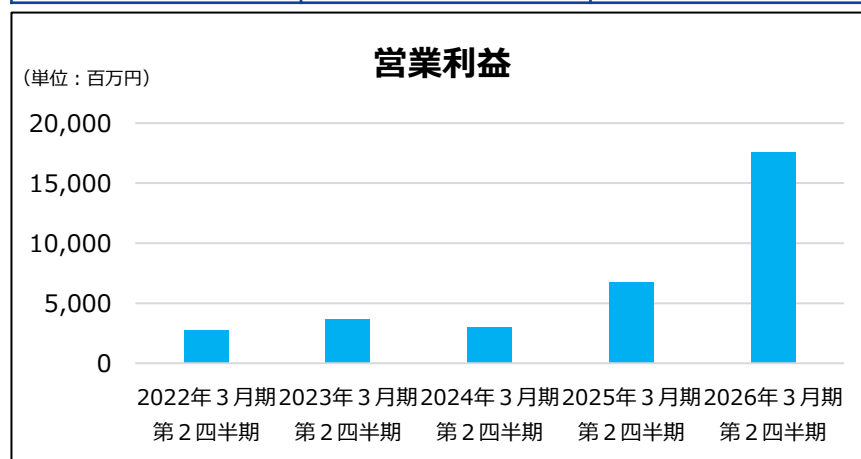


	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
東日本事業部	52.2%	57.4%	54.4%	55.5%	58.7%
西日本事業部	41.8%	33.2%	35.7%	38.7%	29.7%
国際事業本部	6.0%	9.4%	9.9%	5.8%	11.6%



（単位：百万円）

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期
営業利益	2,768	3,650	3,031	6,783	17,583
経常利益	3,044	4,330	3,595	6,999	18,137
中間純利益	2,077	3,045	2,411	5,454	12,520



免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

社長室 コーポレートコミュニケーション部：電話 03-5276-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10